

むゆいげ

94号
No.1094

2011(平成23)年
4月1日

親鸞聖人
750回大遠忌



ふつとも
こつとも
日日是好日
泣いてもわらっても
きょうが
一番いい日
わたしの一生の中の
大事な一日だ
から
みつを

発行者:高槻市氷室町2-19-30

浄土真宗本願寺派

萬徳寺

電話(072)696-0666

FAX(072)692-0769



春季ほのぼの法話

仏さまのおこころとは

♪おこころをいただく♪

浄土真宗の門信徒にとつて、ご本尊は、言うまでもなく阿弥陀さまです。私たちの先人は、悲しい時、うれしい時、腹の立った時、それこそ毎日毎日、何があってもなくても、阿弥陀さまと向き合い、「ナンマンダブ、ナンマンダブ」とお念仏申しながら暮らしてきました。そして、日々の生活の中に起こってくるさまざま問題を、その都度、阿弥陀さまに相談し、自分とまわりの世界のあり方を問い、生きてきました。

言うなれば、阿弥陀さまのおこころ（願い）をいただき、生きる力としてきたのです。蓮如上人は「信心獲得（まごやく）すといふは第十八の願をこころうるなり」と「御文章（ごぶんしょう）」にお示しく下さいました。阿弥陀さまのおこころを、わが身にいただきたい生きなさいとの実に明確なお示しです。

それでは、阿弥陀さまのおこころをいただくとは、どうしようかとをどうのでしょう。

念仏者、教育者として知られた東井義雄先生のご本の中に、『次郎物語』で有名な下村湖（こ）人先生の「おかあさんのかんじょう書き」というお話が紹介されていきましたので、要約してご紹介します。

♪みんなただ♪

進君という少年が、学校へ出かける時、前夜書きつけた紙片を二つに折って、お母さんの机の上にそっと置いて学校へ行きました。紙片には次のように書いてありました。

請求書

- ・市場へのお使い代 10円
- ・マッサージ代 10円
- ・お庭のそうじ代 10円
- ・妹をつれて行き代 10円
- ・婦人会の留守番代 10円

進より
おかあさんへ

進君のお母さんは、これを見てニッコリしました。そして、その日の夕食の時、今朝の請求書と五十円が、ちゃんと机の上ののつていました。進君は大喜びで、お金を貯金箱に入れました。

その翌日、進君がごはんを食べようとすると、

机の上に一枚の紙があります。開いてみると、それはお母さんからの請求書でした。

お母さんの請求書

- ・ハシカの看病代 ただ
- ・学校の本代、ノート代、えんぴつ代 みんなただ
- ・毎日のお弁当代 ただ
- ・冬のオーバー代 ただ
- ・進君が生まれてから今日までのおせわ代 みんなただ

おかあさん
進君へ

進君は、これを見た時、胸がいっぱいになって、大つぶの涙がもう少しでこぼれそうになりました。そして、泣きたくなったのをぐっとこらえました。そして、これからはどんなにお手伝いしても、お金はいらないと思いました。大好きなお母さんのためには、自分のできることなら何でもしてあげようと思ったからです。

♪請求書から領収書へ♪

このお話の中には、私と阿弥陀さまのつながり、阿弥陀さまのおこころをいただくとはどういうことなのかというヒントがあると思います。進君とお母さんに、私と阿弥陀さまが重なって

るように思えるのです。進君は自分がしたこと
を請求書としてお母さんに送りましたが、お母
さんが自分にくれたことは「みんなただ」で
した。つまり、進君は親に請求書を出すより先
に、お礼と感謝という領収書をお母さんに送る
べきだったでしょう。そのことに進君は気付か
されたのです。

このように心がひるがえることを「回心」と
いいます。「撰め取つて捨てない」という阿弥陀
さまのおこころをいただくことが、まさに回心
なのです。「みんなただ」というお母さんの言葉
には、いつも進君を心配しているお母さんのこ
ころ（願い）がありました。そして進君に芽生
えた、大好きなお母さんのためには何でもして
あげようと思うこのころも、進君がつくったこ
ろではなく、お母さんの言葉からいただいたこ
ころでした。

阿弥陀さまの親（こころ）（願い）は、私たち一人
ひとりに南無阿弥陀仏として今届けられてい
ます。阿弥陀さまは、今日も、私と共に歩んでく
ださっているのです。

（長福寺住職 日南浄円先生）

永代経法座のご案内

◎四月九日（土）

午後二時（仏説無量寿経）

午後七時（仏説阿弥陀経）

◎四月十日（日）

午後二時（仏説無量寿経）

法話 本願寺布教使 野村康治先生

★野村康治先生、現在五十二歳。大阪市東淀川

区小松、瑞松寺ご住職。ビハラー（終末介護）

活動に心血をそそいでおられます。現在本願

寺「連続研修会」中央講師。平成二十年永代

経法座以来のご法縁です。み教えをやさし

く、ていねいに説いていただきます。

★年行司（総代・仏壮）の方々によりますお志の

受付は、午後二時十五分（一日目）よりしてい

たきます。お参りの方々、よろしくお願

いたします。

永代経法座は「永代にわたってお経を、み教えを伝
えよ」の志（永代経開闢）に感謝する法要です。

ご聴聞には、男性の方々、お若い方々もぜひお参
り下さい。心よりお待ちしております。

人生講座のご案内

◎六月二十六日（日）午後二時より

◎場所 萬徳寺 本堂

音楽法話

◎講師 鈴木君代師

★楽しいお話をさせていただきます。皆さまノド
うぞお寺にお越し下さい。

- 一日に一度、お仏壇にお参りいたしましょう
- 大きなお声でお念仏いたしましょう
- 仏事ごと（法事、葬儀等）には、門徒式章を懸ける
よう心がけましょう



1月10日に本山御正忌報恩講に仏教壮年会でお参りをいたしました



4月9日から勤まる親鸞聖人750回大遠忌のための準備が進んでいます



住職の ひとり言



◆ 四月は花開く心暖まる季節。またお釈迦様が生まれられた季節、萬徳寺永代経法座の季節でもあります。冬の寒さに耐え、じつと身をすくめていたのが、春の到来とともにホッと平常感覚を取り戻し、心はずます一時です。やつと生きる力が出てきます。さあ！あらためて「お念仏の心」を、わが心にお育ていただきましょう。

◆ 昨年のクリスマスが発端でした。プロレス漫画『タイガーマスク』の主人公「伊達直人」を名乗る人物から各地の児童養護施設にランドセルや文房具、現金等のプレゼントが届けられました。それから次から次と…。「タイガーマスク運動」が社会現象になっていきましたが、その報道に触れ、「世の中、そんなに捨てたもんじゃないなあ」と、心が温かくなりました。この「タイガーマスク運動」によって、児童養護施設の存在がクローズアップされた意義は大きいですが、いまの日本社会が無縁化社会（人と人との交わりを忌避する、隣人との関係を持ちながら

ない）が急激に進んでいく中、善意の寄付という、お互い助け合い、支え合っていく「おかげさま」の心がまだ無くなっていないことに、私たちは安堵したことでした。

個人情報により非表示にさせていただきます。

「朝あしたに紅顔こうがんあって、夕には白骨となれる身なり」。蓮如上人の『御文章ごぶんしょう』のお言葉のまんまの現実に直面いたします。悲しみの深さだけ手を合わせる手の平に力がこもります。今一番お念仏の心がしみとおる一時。お念仏ご相続頂きますよう念じています。

個人情報により非表示にさせていただきます。